



H I M E K A N



姫路市医師会看護専門学校

VOL. 4

2015. 1 発行

・～・～・ 創立10周年を迎えるにあたって ・～・～・

姫路市医師会看護専門学校は、医療・看護の高度化に対応し、姫路市における地域医療を充実させて、市民の健康と安全を守るための専門職業人としての看護師を養成するため、平成17年4月設立に至りました。

設立当時は、看護学科3年課程と2年課程定時制の2課程編成でスタートしました。看護学科3年課程の学生は高校卒業後の入学者がほとんどで、若さあふれる力で未来に向かって一生懸命進んで行く学生と、2年課程定時制の学生は、准看の資格をもち働きながら学ぶ勤労学生でした。学生の中には、家庭をもち母親、父親の役割を担いながら学ぶ学生もいました。そのような2課程の特徴が見られました。しかし、看護大学が続々と開学し看護教育の大学化が進み、2年課程定時制は受験者数も減少し平成23年、最後の卒業生を送り出し閉課しました。

開校から10年目を迎え698名の卒業生が、この姫路市医師会看護専門学校から旅立ちました。そして現在、実習施設に何々と指導者や管理者として活躍されている卒業生も居りその姿を見ると、私達教員にとってもこの上なく嬉しく感じるものです。そして、蒔いた小さな種がしっかり花を咲かせ実を結ぼうとしていることを実感致します。

看護教育は、けして学校だけで成し得ることではありません。学生にとって臨地実習は、学内の慣れた環境とは異なり看護のリアリティに直面するため、ストレスや緊張の高い学習環境となります。そのような時、教員や指導者の関わりにより、学生は学習意欲や学びが高められ成長につながります。

現在、医療の高度化及び複雑化、そして患者の高い権利意識の中、看護を目指す学生は、生活体験が乏しい18歳から社会人経験のある30～40歳代と多様化しており、学習状況も様々で学生間における二極化が見られます。また3年間の過密なカリキュラムは時間の余裕がもてず、物事を深く突き詰めていくという学び方が難しい状況にあります。加えて在院日数の短縮化、医療安全の重視などにより、臨地実習でも計画した内容を実践することが困難であり看護基礎教育における課題は重大です。また国の推計では、10年後の2025年には、団塊の世代が全て75歳以上となる中で、慢性疾患や複数の疾患を抱えながら地域で生活する人々が急速に増加し、現在より50万人多い200万人の看護職が必要になると言われています。

このように、看護を取り巻く環境は今後益々変化をしていきます。そのような中、看護専門学校として、看護師資格を取得するためには、大学教育は4年間、看護専門学校は3年間であることを一つの優位性と考え、地域、自治体による支援や施設

との役割、連携、協働を持ち、更に深めていくことが重要であると考えます。

そして、看護師の「夢」を抱いて本校の門を潜ってきた学生を、専門職業人として責任をもって支援し、「夢」の実現に向けて共に進み、地域の保健医療福祉に貢献できる看護実践者として育成していきたいと思っております。

教務主任 奥野 孝子

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 創立10周年記念式典のご案内 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

日 時 平成27年 4月 4日(土) 14時予定

場 所 姫路市文化センター 小ホール



オープンキャンパス及び学校見学会に今年もたくさんの参加者が来校！



今年の6月7日と9月6日に学校見学会、7月29、30、31日にオープンキャンパスを実施しました。昨年から実施することとなった学校見学会では、今年は左上段の写真のように模擬授業をプラスして実施しました。

学校見学会には約100人、オープンキャンパスには約270人、計370人もの参加者が来校してくださいました。本校在校生も多くの学生がボランティアに参加してくれ、参加者の誘導・看護体験の説明・相談コーナーでの相談とたいへん活躍してくれました。参加者は、がんばる在校生が輝いて見えたようです。未来の自身の看護学生像が見え、今後の受験勉強の励みになったようです。

毎年たくさんの参加者があり、にぎわうオープンキャンパス。「昨年も参加したんです」というリピーターや「娘です」と挨拶してくれる保護者となった卒業生までいました。嬉しいかぎりです。人気の看護体験は、赤ちゃんだっこや体位変換など、実際に参加者が体験できた内容が上位でした。創立10周年を迎えましたが、まだまだ建物のきれいさや、設備の充実にも好感をもってもらえているようでした。男子高校生も多く参加してくださり、男女を問わず看護師人気は今も健在です。

姫路市医師会看護専門学校ならではの学校見学会・オープンキャンパスになるよう年々努力していきます。ぜひともお知り合いの方で看護師希望の方がいらっしゃいましたら、母校のオープンキャンパス・学校見学会を勧めてみてください。ご協力お願いします。

10周年記念事業 第10回天姫祭 記念講演とミニコンサート

今年、姫路市医師会看護専門学校 開校10年目を迎え、祝典として様々な事業（行事）を10周年記念事業とし大々的に開催することになり、天姫祭も“10周年記念事業 第10回天姫祭”として、文化センターでの講演会や、3日目の本校エントランスホールでのミニコンサートを催すことになりました。



第10回天姫祭記念講演の会場となった姫路市文化センター



記念講演前に石見姫路市長、空地医師会長からお言葉をいただきました。



記念講演は、フジテレビ系「奇跡体験アンビリバボー」等に出演した、元中学体育教師・養護学校教員で、現在は講演家である腰塚勇人先生に来ていただき“命の授業”を講演していただきました。「命の大切さ」や「命の喜ぶ生き方」を学びました。30万人が泣いたという内容だけに学生も涙しながら傾聴していました。



3日目の記念事業特別イベントは、本校エントランスホールでのミニコンサートでした。演奏者は、ソロや室内楽オーケストラ等で活躍中の3名の方で、ピアノ・ヴァイオリン2挺の二重奏で7曲を演奏していただきました。やはり生演奏は素晴らしいです。普段は、ピアノの自動演奏が流れているエントランスホールが、コンサートが始まるとエントランスホールのみではなく、学内が幻想的な空間に紛れ込んだかのような様子で、来場者、学生、職員みな様にホッと感嘆し、普段とは違う時間を楽しみました。芸術に触れると心がやすらぐということを実感できた時間でした。



はるかのひまわり絆プロジェクト

今年も5月から10月の文化祭に向け、文化祭実行委員会がはじまりました。そして、その中で、はるかのひまわりの種を学校の花壇に蒔き育てることになりました。

H26.5.16 種まき…… 文化祭実行委員みんなで蒔きました



はるかのひまわりの種まき
たくさん、元気に、
大きく育てることを願いました。



こんなに小さな種



お水いっぱい
あげましょう↓

すると……

芽が！

実行委員のみんなと学生
有志で当番を決め水まき
がんばりました！



H26.5.22 発芽を確認!!

たくさんのタネから次々と発芽し、1週間後…多すぎて新たな問題が！

はるかのひまわり絆プロジェクトの詳細はこちら……



はるかのひまわり絆プロジェクト

【はるかのひまわり】
平成7年1月17日大きな地震が神戸を襲いました。木造の建物は、2階部分が崩れ落ち、1階は完全に押しつぶされていました。はるかちゃんがガレキの下から発見されたのは、地震発生から7時間後でした。震災から半年後、はるかちゃんの家があった空き地。はるかちゃんの遺体を発見した場所には驚いたことに、無数のひまわりの花が、力強く、太陽に向かって咲いていました。お母さんはひまわりを見て、「娘がひまわりとなって帰ってきた」と涙しました。近所の人たちは、この花をこう呼びました。『はるかのひまわり』

【はるかのひまわりの配布活動】
はるかちゃんと同級生の娘さんを持つ藤野芳雄さんは、はるかちゃんを助け出せなかった悔しい思いから、はるかのひまわり、を全国へ普及させる活動を愚直に続けてこられた、はるかのひまわり、の生みの親です。“はるかのひまわり絆プロジェクト”も藤野芳雄さんの真摯な思いから生まれた活動です。藤野芳雄さんは2012年11月に逝去されましたが、ご冥福を祈りつつ、向日葵の種の配布活動を継続してゆきたいと思っています。

H26.5.29…ま…さか… 群生～



問題

- ① 多すぎて育たない？
→ 間引きが必要
- ② 芽を踏まれないよう対応策を！
→ 柵の取り付けが必要

右ページ下へ



第10回天姫祭 HEARTで繋ごうひとつの輪～姫看から地域の方々へ～



今年の文化祭は10月17日（金）18日（土）19日（日）の3日間で行なわれました。テーマは「HEARTで繋ごうひとつの輪～姫看から地域の方々へ～」。「HEART」には、皆様への感謝の気持ちと看護師を目指す学生としての志を込めていました。第1日目、午後から文化センターで講演会をするため、午前中に、いつもは本校体育館で行なっていた学内イベントのクラス発表を、文化センターの大きな舞台ですることになりました。大きな舞台にゴージャスな照明といつもと違った設備の中、各クラス華やかな衣装や懐かしい制服を身にもたて踊ったり歌ったり、影絵を作成して上映したり、動画やスライドを上映したりと工夫を凝らしがんばりました。

（写真左上から）姫路市文化センター小ホール（座席数493）、軽やかなダンス…

（写真左下から）大舞台での司会…「緊張しました」、影絵、照明を生かした踊り、おそろいの衣装

第2日目は学校を開放し、地域の方々や日頃お世話になっている多くの方々をお招きし、模擬店や看護体験などを企画し提供しました。今年も例年同様529名もの方が来場してくださいました。模擬店は、ふるポテ・カレー・唐揚げ・あげぎョーザ・豚汁・ジュース・パンケーキ・焼きそばなど、体験コーナーは、手浴・足浴・血圧測定・赤ちゃん抱っこ・妊婦体験・高齢者体験・看護フォト、それにバザーやスタンプラリーに献血・骨髄バンク、ユニセフ、ひまわりパンにかしの詩、今年の特色は表れていたでしょうか。近隣の小学生達が友達同士で学内を探検し、看護体験やスタンプラリーを満喫している様子でした。今年は、文化祭実行委員で春から学内の花壇を整え、ひまわりを植え、育て、種を採取し、そんな様子を模造紙に表現し、掲示していました。



（写真）看板引き継いでいます！模擬店

キッズの高齢者体験、卒業生の訪れを歓迎する先生達



（写真上）今年の体育館の看板です。

（写真右上）エントランスホールで表彰式

（写真右下）文化祭実行委員挨拶

第3日目天姫祭最終日。午前中前半は、本校体育館において学生だけの全校イベントでした。3学年でクイズやゲーム等、学年の壁を越え楽しみ、グループになり天姫祭総仕上げ、団結力を養いました。午前中後半は、記念事業特別イベント、本校エントランスホールでのミニコンサートでした。3日間ともに晴天で、大きなトラブルもなく無事終了いたしました。来年もまたこの時期に天姫祭を開催します。ぜひみなさん、声を掛け合いお越しく下さい。お会いできることを楽しみにしています。

はるかのひまわり絆プロジェクト

今年は早くから台風8号や11号が襲来し、ひまわりを育てる間、ひまわりが倒れてしまうのでは、猛暑の中、枯れてしまうのではと心配はつきませんでした。その都度支柱を立てたり、肥料をあげたり、様子を伺ったり、日頃通り過ぎていた花壇に目を配る機会が増えました。元気にぐんぐん育つひまわりを見ていると、私達も看護師の夢をつかむため、日々の勉強や実習がんばらなくては！と励まされ、元気をもらいました。そしてこの後、タネを収穫し、この様子を模造紙に記録し、天姫祭当日にエントランスホール中央丸柱に掲示させていただきました。見ていただけた方に、心がほかほかするような気持ちになっていたいただけたらと願っています。



H26.7.17 花壇に肥料を与え、花壇にフレートを設置



そして、そして、ついに!!
ひまわり満開です!!

H26.7.7 支柱を立て作業をしていると… “つぼみ”を発見♪

ひまわりをこんなにたくさん植えたのは初めて。まさかこんなにいっぱい芽がでるなんて驚きです。夏休みも交代で水撒きをしました。あとは元気いっぱいの大輪の鮮やかな花を待つばかり…
と思っていたら、苗が倒れて支柱を立てたり、虫除けしたり、まだまだ気を抜けません!!
踏まれないよう垣根をつけました。



何度も間引きしました。1本1本大切に…



「カットします…」

学生Mさん
「かわいいのよう～」
(^o^)



どれをカットしてよいのか…悩みます。えいっ。
成長に合わせて間引いていきました。

看護師生涯教育研修会の第5回開催報告と第6回開催案内について



第5回看護師生涯教育研修会を8月9日(土)に姫路市医師会館にて開催しました。その日は、台風11号が近畿地方を通過しようかという日でしたが、幸いにも少し台風の速度が遅かったため暴風域に入る前に開催できました。天候の悪い中、156名もの方が参加してくださいました。講師は、姫路医療センター 救急看護認定看護師の金田八葉美 看護師。テーマは、「病棟・外来、在宅における“急変”の予測と対応」とし、“急変を防ぎ、悪化させない”ための状況判断力と対応の実際についてご講演いただきました。金田看護師は、講演で「第一印象の評価は聴診器や血圧計などの器具を使わずに、“目で見て”“耳で聞いて”“手で触って”五感を駆使して行う。“何か変?”と気づいたら、見落としにくい観察ポイントをABCDEアプローチで観察し、問診から得た情報と統合し緊急性の高い病態をアセスメントする。高齢患者は、患者、家族、介護者から、いつもと何がどう違っていいのかを明らかにすることが、診断・処置・検査の判断につながる」と述べ、看護師の最初の“気づき”が大切!と締めくくった。参加者は、事例をもとにした講演内容に、「想像しながら聞いてよかった」「分かり易かった」「自身の臨床での事例と照らし合わせて考えることができた」と感想を残されていました。



第6回看護師生涯教育研修会は2月28日(土)に姫路キャスパホールにおいて開催します。テーマは夏と同じ、「病棟・外来、在宅における“急変”の予測と対応」とし、講師は製鉄記念広畑病院 姫路救命救急センター長 中村 雅彦先生にお越しいただきます。講演とシンポジウムの2本立てを計画しています。シンポジウムにシンポジストとして市内医療施設から3名の看護師の方をお呼びします。開設から2年、姫路救命救急センターの最新情報や姫路市内の医療の現状など興味深い内容になることでしょう。

卒業生のみなさん、各医療機関の看護師の皆様、知り合いの看護師の方々を誘って、ぜひこの研修会にご参加ください。そして今後の研修会希望内容等のアンケートを随時行なっていますので、ぜひ皆様のご意見・ご希望を記入いただき、この研修会をよりよいものとしていきたいと考えています。ご協力よろしくお願いします。

第6回看護師生涯教育研修会

日時 平成27年2月28日(土) 14:30～
場所 姫路キャスパホール
テーマ 病棟・外来、在宅における“急変”の予測と対応
講師 製鉄記念広畑病院 姫路救命救急センター長 中村 雅彦 先生

参加申込み方法

電話 298-1241 または、
ホームページ
<http://himeji-kango.jp> で



本年度、匿名希望の方から左の写真の看護系図書28冊ご寄贈いただきました。看護学生の実習や、卒業生の研究等にたいへん参考になる図書ばかりです。この場をお借りし感謝申し上げます。

・・・ 編集後記 ・・・

みなさんいかがお過ごしでしょうか。学校だより「HIMEKAN」を始めて早2年、第4回を発刊することができました。卒業生のみなさんには、学校の様子を身近に実感していただけたでしょうか。看護師生涯教育研修会、文化祭への参加や、図書室の利用などで本校に立寄りやすくなりましたでしょうか。今回は、10周年記念事業として文化祭を特集しております。今年は、ホームページをリニューアルし、卒業生へのページもあります。ぜひご覧ください。アドレスは、<http://himeji-kango.jp>です。今後も本校の運営並びに教育にご協力いただけますようお願い申し上げます。

平成27年1月

掲載記事募集

この「HIMEKAN」に掲載する記事を募集しています。卒業生のみなさんにお知らせしたいこと、伝えたいこと、がんばっていること等なんでもかまいません。様式は問いません。掲載内容と名前、住所、連絡先を記入して、学校まで送付してください。もちろん、持ち込みもOKです。



●●発刊元●●

姫路市医師会看護専門学校
学校事務課
〒670-0074
姫路市御立西五丁目6番22号
Tel 079-298-1241(代)
Fax 079-298-6876